

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2023年12月17日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌95「わがこころは」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌216「ああ麗しきシオンの朝」	一 同
教会学校	紙芝居「三本のクリスマスツリー」	牧 師
讃 美	讃美歌501「命の御言葉」	一 同
聖書朗読	使徒行伝8:4-13	
奨 励	使徒行伝の福音(第26回)	牧 師
主 題	「聖霊の賜物」	
讃 美	讃美歌500「みたまなる聖き神」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	クリスマス・メッセージ	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

《今週の歩み》

12/17(日) 聖日礼拝
/18(月) 13:30 説教塾(東一番口)
/19(火)
/20(水)
/21(木) 10:00 聖研
/22(金)
/23(土) 13-16 子供オプンハウス
/24(日) クリスマス礼拝



キリスト教キーワード

《処女降誕(しょじょこうたん) [Virgin birth]》

イエス・キリストは処女マリヤから生まれました。このことを処女降誕と言います(マタイ1:18-25; ルカ1:26-56)。このことの中に結婚そのものを否定したり、修道院制度の基礎を見ようとするのは事柄の本質を見誤るものです。このことを通して明らかにされていることは、イエスがその誕生から神でありながら、しかも私たちと同じ肉体を備えた人間としてお生まれになったということです。そしてさらに驚くべきことは、これが旧約聖書に預言されていたことの成就であるということです。「それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなた方に与えられる。見よおとめがみこもって男の子を産む。その名はインマヌエルととなえられる」(イザヤ7:14)。

《樅の木(もみのき)》

キリスト降誕の祝いにクリスマスツリーを飾る習慣は、今では世界中に普及しています。このツリーに用いられる木はおもに樅の木です。では、なぜ樅の木が用いられるようになったのか、その理由について西欧にはさまざまな伝説が残っています。そのひとつは、キリスト降誕の夜に、神は信仰・希望・愛(1コリント13:13)という三天使を送り、クリスマスツリーを立て、明かりをつけるように命じた時、天使たちは樅の木を選んだというのです。それはこの木のどの枝も大きい枝から直角にのびていて、十字架の形に似ていたからでした。このほかにも沢山の伝説がありますが、西欧では寒い冬に、他のすべての樹木が枯れても生き生きとしていて、永遠の生命を表すものとして考えられていたこともそのひとつの理由だろうとされています。